

令和4年度(2022.4-2023.3)

# 血液事業概要

埼玉県赤十字血液センター

# 目次

---

所長あいさつ	1ページ
埼玉県赤十字血液センターの沿革	2ページ
組織機構図と職員数	7ページ
血液センターの業務	8ページ
施設の案内	12ページ
献血ルームの案内	14ページ
広報・キャンペーン活動	16ページ
研修・見学	18ページ
統計資料	20ページ

# 所長あいさつ



平素より埼玉県赤十字血液センターの血液事業につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和4年度、埼玉県では延べ 239,357 人の皆様に善意の献血へご協力いただき、血液を必要としている患者様のもとへ滞りなく輸血用血液製剤をお届けすることができました。これは、献血にご協力いただきました皆様をはじめ、埼玉県各市町村、地域の協力団体等、多くの方々のご尽力のおかげと、心よりお礼申し上げます。

さて、血液事業における新型コロナウイルスの与える影響としては、令和3年度に移動採血バスで約 250 団体の献血が中止となりましたが、令和4年度においては約 35 団体と大幅に減少する結果となりました。また、メディアの報道やSNSでの呼びかけにより、新たに献血へご協力いただける団体が増加したことにより、乗り切ることが出来ました。

さらに、埼玉県内においては輸血用血液製剤の需要が増加しており、様々な血液確保策を実施するとともに、従来行っていた Twitter や Facebook、Instagram をより一層活用し、献血の普及啓発や理解促進を図っております。

なお、令和4年9月より、複数回献血クラブ『ラブラッド』のアプリ化に伴い、献血予約の簡略化や事前の問診回答が可能となったことから、所要時間を短縮することが可能となりました。

医療技術が発展した今も、輸血に使用される血液は人工的に造ることができません。他に代わるものの無い輸血用血液製剤を患者様へお届けするためには皆様の献血へのご理解とご協力が不可欠です。

安全な輸血用血液製剤の安定供給に向け職員一丸となって努めて参る所存ですので、引き続き皆様の力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月

埼玉県赤十字血液センター

所長 中川 晃一郎

# 埼玉県赤十字血液センターの沿革

## ●1964年（昭和39年）

- 8月 「献血推進について」の閣議決定
- 11月 日赤本社から日赤埼玉県支部に移動採血車（愛の献血車）1台配備
- 12月 埼玉県献血推進協議会を設置

## ●1965年（昭和40年）

- 2月 埼玉県赤十字血液センターを大宮赤十字病院の一室に開設（業務開始）
- 6月 埼玉県赤十字血液センター施設を大宮赤十字病院の敷地内に新築落成



- 9月 「第1回愛の献血助け合い運動」を実施
- 11月 県内の保健所地区すべてに献血推進協議会を設置

## ●1967年（昭和42年）

- 3月 県内の市町村すべてに献血担当窓口を設置

## ●1968年（昭和43年）

- 4月 献血相談員制度（1971年4月に献血指導員に改称）を発足
- 8月 不規則抗体スクリーニング検査を開始
- 10月 県内最初の市町村献血組織（川越市献血会）を設置

## ●1969年（昭和44年）

- 8月 県内での献血者10万人を達成
- 10月 「第1回埼玉県・愛の血液助け合いの集い」を埼玉会館（浦和市）で開催
- 11月 県費補助金により肝機能・血液型検査サービスを開始（1977年3月まで実施）

## ●1970年（昭和45年）

- 4月 浦和出張所、大宮出張所、東松山出張所、深谷出張所を開設（1983年12月に廃止）

## ●1971年（昭和46年）

- 3月 Au（HBs）抗原検査を開始
- 11月 川口出張所を開設（1983年12月に廃止）

## ●1973年（昭和48年）

- 8月 血液成分製剤の製造を開始

## ●1974年（昭和49年）

- 4月 国庫補助金により血液代金自己負担金給

付制度を発足（1986年4月廃止）

## ●1975年（昭和50年）

- 9月 血液製剤用に血液型別カラーラベルの使用を開始

## ●1976年（昭和51年）

- 8月 Rhマイナス型の献血者登録を開始
- 11月 埼玉県赤十字血液センター施設を県立がんセンター敷地内（伊奈町）に新築移転（旧施設は大宮第二出張所に改称（1983年12月に廃止））

## ●1977年（昭和52年）

- 4月 異常値を示した献血者に対する生化学検査結果の通知を開始
- 6月 献血者登録制度を開始
- 10月 HBs抗原検出用試薬の製造を開始

## ●1978年（昭和53年）

- 4月 HBs抗原検出用試薬の全血液センターへの供給を開始

## ●1979年（昭和54年）

- 3月 県内での献血者100万人を達成



- 4月 HLA抗体スクリーニング検査を試験的に開始
- 7月 研究部（HBs抗原検出用試薬の製造供給・開発研究）を設置
- 9月 岩槻市役所で県内最初の出張（オープン）採血を実施
- 10月 バッグによる採血に全面切替（ピンでの採血を中止）

## ●1980年（昭和55年）

- 1月 献血手帳から優先還元に関する記載事項を削除

## ●1981年（昭和56年）

- 3月 第1回学術研修会を埼玉労働会館（浦和市）で開催
- 11月 県内での献血者150万人を達成

## ●1982年（昭和57年）

- 4月 献血者全員に対する生化学検査結果の通

知を開始、献血手帳から供給記録欄を削除

●1983年(昭和58年)

- 4月 HLA抗体スクリーニング・抗体同定検査をルーチンとして実施、HLAタイピングトレイの製造・供給を開始(熊谷赤十字血液センターに引継ぎ、1997年9月に中止)
- 7月 県内2つめの血液センターとして、熊谷市に熊谷赤十字血液センターを開設(新築)
- 10月 県内での献血者200万人を達成

●1984年(昭和59年)

- 3月 県内最初の献血ルームとして、大宮駅近くに大宮西口献血ルームを開設(2001年7月に移転)
- 4月 大宮分室施設を増改築し研究部を移転
- 11月 米国赤十字血液センターから稀な血液型の血液を緊急確保

●1985年(昭和60年)

- 11月 英国の血液センターから稀な血液型の血液を緊急確保

●1986年(昭和61年)

- 4月 400mL、成分献血の実施
- 5月 所沢西武デパート内に所沢西武献血ルームを開設(2001年4月に移転改称)
- 5月 熊谷赤十字血液センターで抗ヒトグロブリン(クームス血清)の製造供給を開始(2002年3月に中止)
- 7月 AIDS抗体検査(ELISA法)を開始
- 9月 血球計数検査を開始  
県内での献血者300万人を達成
- 11月 ATL抗体検査を開始

●1987年(昭和62年)

- 7月 第23回献血運動推進全国大会を埼玉県(浦和市文化センター)で開催(ご臨席の皇太子殿下・同妃殿下が熊谷赤十字血液センターを行啓)



●1988年(昭和63年)

- 4月 越谷サンシティ内に越谷サンシティ献血

ルームを開設(2008年9月 移転閉所)

●1989年(平成元年)

- 11月 HBc抗体検査(HI法)・HCV抗体検査(ELISA法)を開始

●1990年(平成2年)

- 7月 HLA適合血小板製剤の供給を開始

●1991年(平成3年)

- 4月 日赤埼玉県支部内に第三血液センター建設準備室を設置(1993年5月迄)
- 6月 CMV抗体検査を開始
- 11月 熊谷成分献血友の会が発足

●1992年(平成4年)

- 1月 埼玉県赤十字血液センターと熊谷赤十字血液センターに骨髓データセンターを併設
- 5月 大宮駅東口に大宮東口献血ルームを開設、クリアモール商店街(川越市)に川越献血ルームを開設

●1993年(平成5年)

- 4月 日赤埼玉県支部内に第三血液センター開設準備室を設置(同年9月迄)
- 7月 日高市に第三血液センターの竣工
- 10月 第三血液センターを埼玉県赤十字血液センターとし、旧・埼玉県赤十字血液センター(伊奈町)を埼玉県伊奈赤十字血液センターに、熊谷赤十字血液センターを埼玉県熊谷赤十字血液センターに名称を変更(埼玉県赤十字血液センターを中心とする3血液センターによる県内一体運営体制がスタート)

●1994年(平成6年)

- 3月 HIV-2抗体検査を開始
- 4月 輸血後GVHD防止のための技術(血液製剤への放射線照射)協力を開始
- 11月 3血液センターのオンラインシステム(血液事業統一システム)が稼動

●1995年(平成7年)

- 3月 医療機関に対する血液製剤直配体制に移行(供給業務委託の中止)

●1996年(平成8年)

- 10月 鴻巣自動車運転免許試験場敷地内に鴻巣献血ルームを開設(2014年4月 改築)

●1997年(平成9年)

- 10月 埼玉県伊奈赤十字血液センター・埼玉県熊谷赤十字血液センターにおける検査業務を埼玉県赤十字血液センターに集約化

●1998年(平成10年)

6月 放射線照射輸血用血液製剤の供給を開始

●1999年(平成11年)

4月 献血者の採血基準を改正(献血年齢を69歳に引上)

5月 献血者データの全国オンラインシステムを稼働

10月 核酸増幅(NAT)検査を導入  
プールサイズを500検体でスタート

●2000年(平成12年)

1月 希望者に対するHTLV-1抗体検査結果(異常の場合)の通知を開始

2月 核酸増幅(NAT)検査における検体のプールサイズを50検体に変更

4月 川越献血ルームを移転し、川越献血ルームポケットとして新装開所(2011年10月移転閉所)

6月 埼玉県伊奈赤十字血液センター・埼玉県熊谷赤十字血液センターにおける製剤業務の一部(血小板製剤等の製造)を埼玉県赤十字血液センターに集約化

7月 第1回彩の国血液フォーラムを開催(以降毎年開催)

8月 熊谷駅施設内に熊谷駅献血ルームを開設(これを機に、埼玉県熊谷赤十字血液センター施設での採血を中止)

●2001年(平成13年)

4月 所沢献血ルームを移転し新装開所(2009年12月移転閉所)

7月 大宮東口献血ルームと大宮西口献血ルームを統合し、大宮駅献血ルームとして大宮駅構内に新装開所(これを機に、埼玉県伊奈赤十字血液センター施設での採血を中止)

8月 埼玉県伊奈赤十字血液センターにおける製剤業務の全てを埼玉県赤十字血液センターに集約化

●2002年(平成14年)

6月 埼玉県赤十字血液センター施設の敷地内に同センター新館を建設

7月 埼玉県熊谷赤十字血液センターにおける製剤業務の全てを埼玉県赤十字血液センターに集約化(県内における検査・製造業務の集約化が完了)

同時に、採血業務、渉外業務、管理業務等を含む血液センター業務の県内一体運営体制を確立

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律が制定(全面施行は1年以内)

●2003年(平成15年)

1月 研究部を埼玉県熊谷赤十字血液センター施設内に移転(大宮分室を廃止)

6月 越谷サンシティ献血ルームを新装開所(2008年9月移転閉所)

7月 安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が全面施行

血液製剤の表示事項(「献血」・「非献血」の採血方法の追加等)・添付文書等の改定など(改正薬事法の施行)

●2004年(平成16年)

1月 新鮮凍結血漿の2ヶ月間(60日間)の貯留保管開始

3月 携帯メールクラブ受付開始

5月 第2次血液事業統一システムへ電算システムの変更

6月 新鮮凍結血漿の貯留保管棟を建設



8月 核酸増幅(NAT)検査における検体のプールサイズを20検体に変更

10月 献血者本人確認の開始  
保存前に白血球除去した血小板製剤の供給を開始

12月 新鮮凍結血漿の4ヶ月間(120日間)の貯留保管を開始

●2005年(平成17年)

3月 新鮮凍結血漿の5ヶ月間(150日間)の貯留保管を開始

6月 英国渡航歴のある方の献血受入れ制限措置を開始

7月 新鮮凍結血漿の6ヶ月間(180日間)の貯留保管を開始

●2006年(平成18年)

3月 携帯メールクラブの全国化  
タッチパネル方式による問診回答システムの導入

保存前に白血球除去した成分採血由来の新鮮凍結血漿(FFP-5)の製造を開始

4月 埼玉県伊奈赤十字血液センターを伊奈出張所に、埼玉県熊谷赤十字血液センターを熊谷出張所に名称を変更

5月 埼玉センターでの血液製剤の県内一括受注開始

川口駅東口に川口駅献血ルームを開設

## 埼玉県赤十字血液センターの沿革

- 7月 長野県赤十字血液センターの検査業務を開始
- 9月 保存前に白血球除去した成分採血由来の新鮮凍結血漿（FFP-5）の供給を開始
- 10月 群馬県赤十字血液センターの検査業務を開始  
これまでの献血手帳から本人確認が簡便で携帯性に優れる「献血カード」を全国で導入

### ●2007年（平成19年）

- 1月 保存前に白血球除去した赤血球製剤の供給を開始  
3月末にかけて段階的に初流血除去を開始
- 4月 栃木県赤十字血液センターの検査業務を開始
- 6月 web会議開始
- 7月 大宮駅献血ルームを移転し新装開所（2014年7月閉所）
- 11月 血小板製剤の有効期限の変更（採血後4日間）

### ●2008年（平成20年）

- 2月 感染症関連検査を化学発光酵素免疫測定法（CLEIA法）で開始
- 4月 新潟県赤十字血液センターの検査業務を開始



- 9月 長野県赤十字血液センターの製剤業務を開始  
越谷献血ルームを移転し、越谷レイクタウン献血ルームとして新装開所
- 10月 研究部を廃止

### ●2009年（平成21年）

- 3月 糖尿病関連検査グリコアルブミン検査を開始
- 12月 所沢献血ルームを移転し、所沢プロペ通り献血ルームとして新装開所

### ●2010年（平成22年）

- 1月 英国渡航歴のある方の献血受入れ制限の緩和
- 10月 大宮駅西口に大宮献血ルーム ウエストを開設
- 12月 200mL全血献血者の方にも、血球計数

検査結果の通知を開始

### ●2011年（平成23年）

- 4月 献血の採血基準を一部改正（男性に限り、400mL全血献血が可能の方の年齢の下限を17歳に引き下げ、血小板成分献血が可能の方の年齢の上限を69歳に引き上げた）
- 10月 第35回血液事業学会総会を埼玉県（埼玉会館）で開催（10/20～10/22）



- 10月 川越献血ルームを移転し、川越クレアモール献血ルームとして新装開所

### ●2012年（平成24年）

- 2月 東松山市に埼玉県東松山赤十字血液センター（製造棟）を開設し、検査・製造業務を移転  
茨城県赤十字血液センターの検査・製剤業務を開始
- 3月 群馬県赤十字血液センター、新潟県赤十字血液センター、栃木県赤十字血液センターの製剤業務を開始
- 4月 血液事業の広域運営体制の開始  
組織改正に伴い、埼玉県東松山赤十字血液センターが関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所となり、北関東・信越6県の検査及び製剤業務を実施  
伊奈出張所が事業所となり、埼玉県赤十字血液センターは3部、1事業所、9出張所体制に変更



- 8月 献血血液の検査基準の変更（輸血後のB型肝炎対策として、「HBc抗体1.0以上12.0未満かつHBs抗体200mIU/mL未満」の献血者に対する献血制限の実施）
- 10月 シャーガス病に係る安全対策の開始

## 埼玉県赤十字血液センターの沿革

### ●2013年（平成25年）

- 1月 「献血の同意説明書」の導入  
「献血の同意説明書」により献血に伴う副作用に関する事項を含む4項目について同意事項を説明し、同意いただいた方の献血受入れ開始
- 11月 鴻巣献血ルーム改築のため、一時閉所
- 12月 献血会場にて、検査目的の献血のお断りと問診事項への正しい回答で献血していただくため、「責任ある献血」の注意表示を開始

### ●2014年（平成26年）

- 1月 検査目的の献血者への注意喚起などを収載した「お願い！」パンフレットの改訂
- 4月 鴻巣献血ルームを改築し、開所
- 6月 献血者データの全国オンラインシステムを更新（血液事業情報システム）
- 7月 大宮駅献血ルームを閉所
- 8月 大宮献血ルームウエストを、面積・ベッド数ともに増加して改装  
1検体ごとのNAT（個別NAT）スクリーニングを開始
- 9月 血小板の安定供給を目的とした分割採血を開始

### ●2015年（平成27年）

- 3月 伊奈事業所を閉所  
分画製剤の販売を終了



- 4月 さいたま市見沼区に本センターとしての新社屋を竣工し、埼玉県赤十字血液センターの本部機能を移転  
旧埼玉センター（本センター）は日高事業所と改称
- 11月 越谷レイクタウン献血ルームを改装

### ●2016年（平成28年）

- 4月 献血血液のALT（肝機能）検査による製品除外基準の変更  
【変更前】61IU/L以上 → 【変更後】101IU/L以上

### ●2017年（平成29年）

- 4月 平成19年度から平成28年度において、高校生献血者数が10年連続全国第1位

### ●2018年（平成30年）

- 10月 献血Web会員サービス「ラブラッド」の運用開始

### ●2019年（平成31年・令和元年）

- 12月 献血時体温測定開始

### ●2020年（令和2年）

- 8月 HEV NAT検査開始
- 9月 健康診断基準（血圧・脈拍・体温）の変更

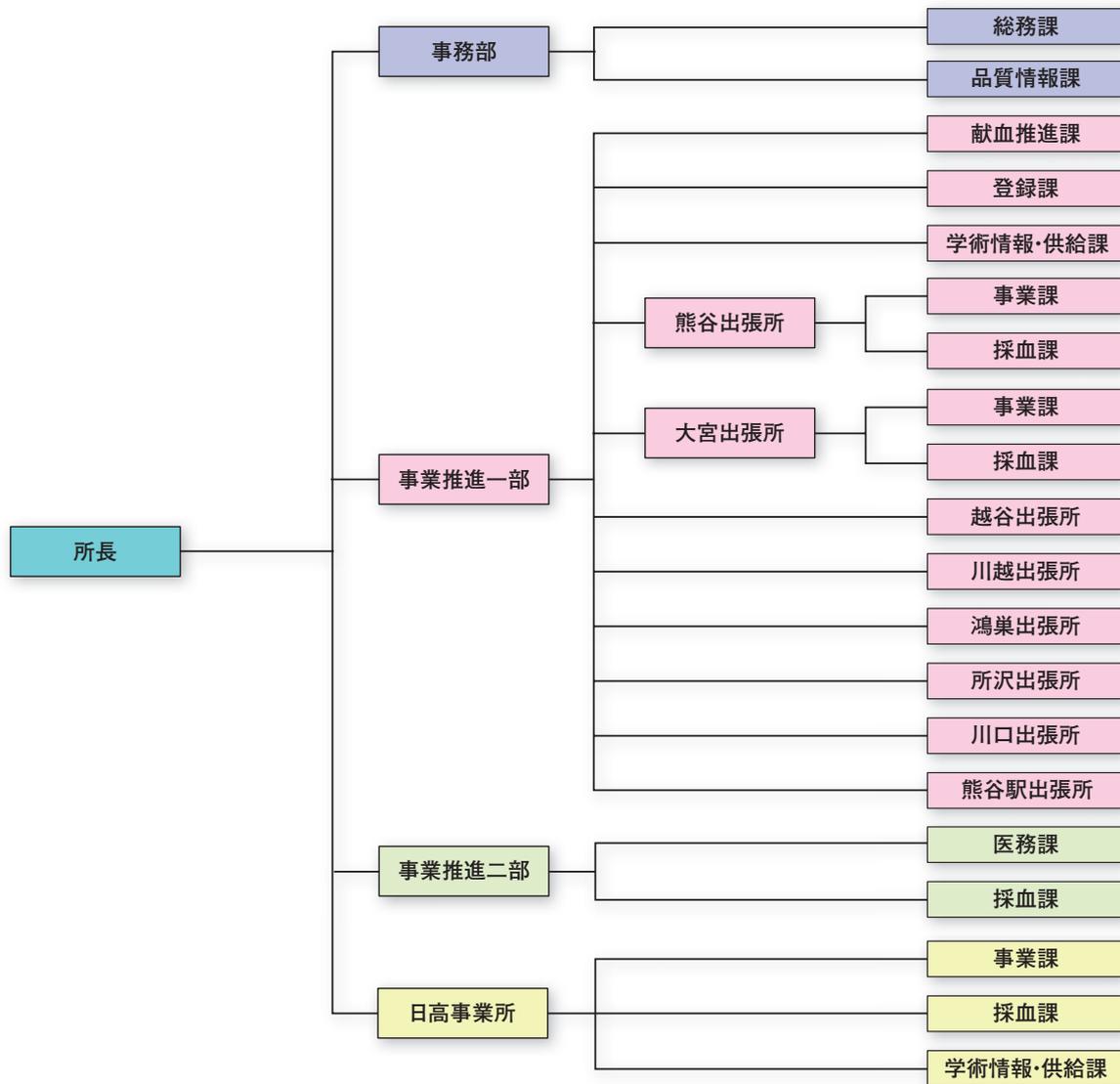
### ●2021年（令和3年）

- 2月 新型コロナウイルスワクチンを接種された方の献血受入を中止
- 5月 新型コロナウイルスワクチン（mRNAワクチンを含むRNAワクチン）を接種された方の献血受入を開始
- 9月 新型コロナウイルス既感染者の方の献血受入を開始（基準あり）
- 11月 感染症検査において複数回偽陽性であった対象者へ通知の開始  
同時に対象の方の献血受入を中止

### ●2022年（令和4年）

- 1月 県内全献血ルームにて、全血献血の事前検査を指先穿刺による方法へ変更
- 9月 献血Web会員サービス「ラブラッド」のアプリによる運用を開始  
アプリによる献血予約や事前問診が可能となる

# 組織機構図と職員数



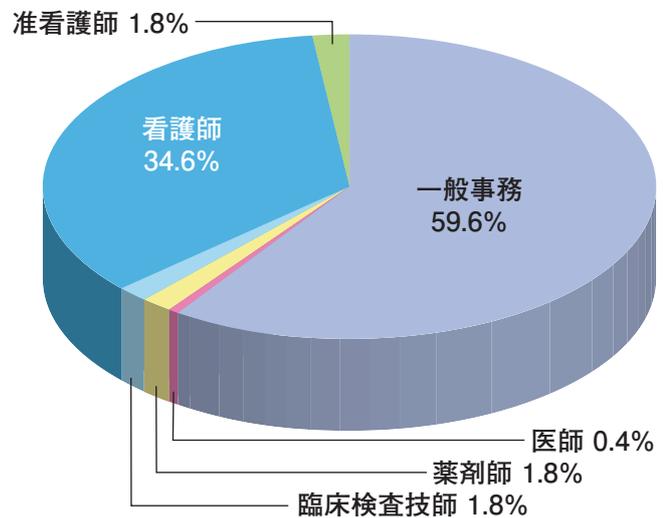
## 職員数

職 種	人数(人)	構成比
一 般 事 務	136	59.6%
医 師	1	0.4%
薬 剤 師	4	1.8%
臨床検査技師	4	1.8%
その他医療職	0	0.0%
看 護 師	79	34.6%
准 看 護 師	4	1.8%
合 計	228	100%

令和5年4月1日現在

※構成比は端数処理しているため、  
合計が必ずしも100%にはならない

## 職種別構成比



# 血液センターの業務

## ● 献血者の確保

埼玉県赤十字血液センターでは、県・市町村・献血推進協議会・献血推進団体と協力し、献血計画を作成したうえで、県内の事業所や学校、また地域における献血参加を呼び掛け、日々献血される方の受け入れを行っています。

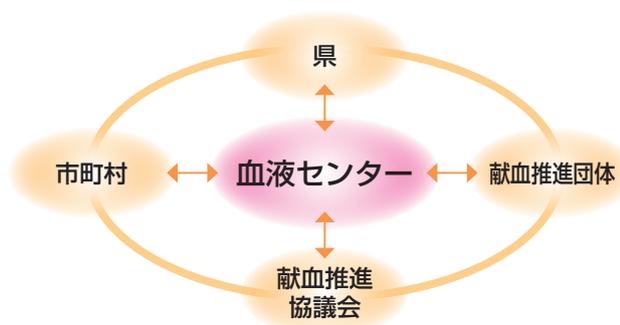
また、医療機関からの要請に対して、安定した血液の供給体制を確立するため、若年層に対する献血啓発や献血協賛企業の推進を図り、より安全な血液を確保するための各種キャンペーンを行っています。その他、Rh（-）の血液型やまれな血液型など、その患者さんにあった血液を確保する必要がある場合には、電話や手紙、メールでの献血協力要請を行っています。特に献血の依頼を迅速に行えるよう携帯電話のメールを活用した複数回献血クラブ「ラブラッド」を設立し、そのクラブへの登録も推進しています。



献血ルーム受付



移動採血



## 複数回献血クラブ（ラブラッド）

平成30年度一般公募により、複数回献血クラブの愛称を「ラブラッド」に全国統一しました。

ラブラッドは安全性の高い輸血用血液を安定的に患者さんへお届けする事を目的として、年に複数回、県内の献血会場での400mL献血または成分献血にご協力いただける方を募集しています。

会員の皆様には血液センターから状況に合わせた献血依頼のメールを送信し、依頼内容に合った献血をお願いしています。令和4年度より問診の事前回答が可能となり、またラブラッドアプリが開始されました。「ラブラッド」の機能が充実されたことにより、幅広く多くの会員の皆様からご好評いただいております。

## ● 献血依頼メール等の一例

- ・ 献血ルームにおいて成分献血を安定的に確保するための定期的な配信
- ・ 献血バスにおける400mL献血を安定的に確保するための配信
- ・ 献血者の減少により血液確保に困難な状況が生じている時の献血依頼
- ・ 特定の血液型が多く使用されている状況での献血依頼
- ・ 血液在庫状況のお知らせ
- ・ イベント・キャンペーン開催のお知らせ

## ● ラブラッドの特典

- ・ 平成17年4月以降の検査成績等を見ることができます。  
また、グラフでも表示されます。
- ・ ラブラッドポイントが貯まり、20ポイント毎に記念品と交換ができます。
- ・ 献血ルームにおける成分献血、400mL献血の予約ができます。
- ・ 献血バス（一部会場）における400mL献血の予約ができます。



会員登録はこちら

<https://www.kenketsu.jp/>

## 献血サポーター

献血サポーターとは、医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血や献血推進活動に積極的に協力いただける企業・団体のことです。

献血サポーターとなった企業・団体には、「献血サポーター」ロゴマークを日常の企業活動等において活用いただいています。

国民の医療を支える献血のさらなる推進を図っていただき、また、社会貢献活動である献血活動を国民に広くPRする機会として「献血サポーター」へのご参加をお願いしています。

※このロゴマークは企業・団体が行う「献血活動」を応援するため、厚生労働省が制作したものです。  
※このマークの使用にあたっては、「献血サポーター」活動への参加が必要となります。

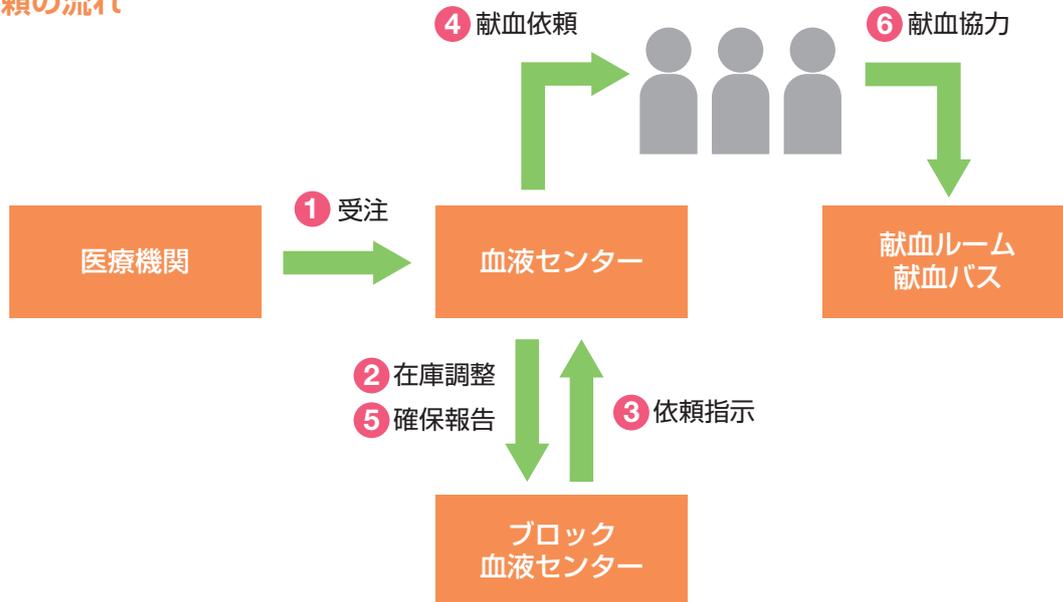


## 特殊な血液の献血依頼要請

埼玉県赤十字血液センターでは、皆様に献血の申し込みをいただく際に、献血依頼要請の可否について確認しています。この項目にご同意いただいた方に対して、下記のような場合に電話で献血のお願いをしています。

- (1) 輸血用血液の在庫が減少傾向にある場合
- (2) Rh(一)の血液の在庫が必要になった場合
- (3) まれな血液が必要になった場合

### ●献血依頼の流れ



平成24年度から血液製剤のさらなる「安全性の向上」と「安定供給の確保」および「効率的な事業運営」を行うため、これまでの都道府県単位の事業運営体制を見直し、各都道府県の血液センター単位によるものから、ブロックを単位とする広域的な事業運営体制に移行しました。このブロック化により血液在庫も広域で管理され、特殊血の在庫状況も短時間で把握できるようになりました。また、在庫がない場合にもブロックセンターが複数の血液センターに依頼要請を出すことにより、医療機関に対してより迅速な対応が可能となりました。

## ●採 血

埼玉県赤十字血液センターでは、県内7か所に献血ルームを開設しています。また、県内1か所の血液センターと2か所の事業所及び出張所に配置した移動採血車を職場や地域の献血会場へ配車し、来場された献血者から採血しています。献血には下記のような種類がありますが、それぞれ採血するときには、献血者及び輸血を受ける患者さんの安全確保のために、血色素量・献血歴等の確認のほか、健診医師による血液検査ではチェックできない項目等の問診を行っています。



問 診



採血室



## ●供 給

埼玉県赤十字血液センターでは、埼玉センター・日高事業所・熊谷出張所の3供給施設において、各血液製剤を定められた条件下で適切に保管・管理しています。また、県内の3供給施設に血液運搬車を配備し、県内の医療機関に血液製剤を供給しています。医療機関からの発注は、埼玉センターで一括受注され、3供給施設から県内の約500医療機関に必要な血液製剤を24時間体制で供給しています。さらに、全国を7つのブロックに分け、広域的な血液製剤の需給管理体制により、輸血を必要としている患者さんのため、迅速に対応しています。



血液運搬車



供給出庫作業

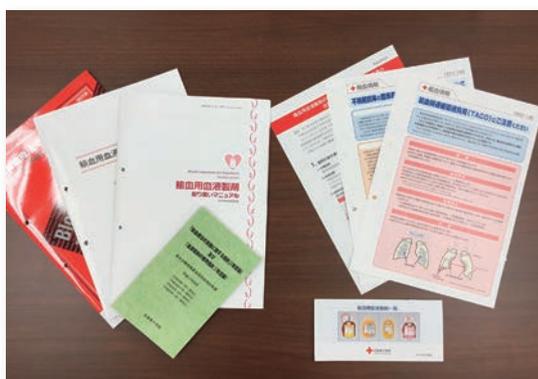


供給出庫作業

## ●学 術

医療機関に供給された血液製剤は、必要な情報（品質・有効性・安全性等）が付加されてはじめて適正に使用されます。その情報を医療関係者に提供・収集・伝達する役割を担っているのが医薬情報担当者（MR：Medical Representative）で、学術情報部門がその業務を行っています。いわば医療のパートナーとして訪問活動しており、輸血関連情報や適正使用に関する情報等の提供、輸血副作用への対応、問い合わせの対応、埼玉輸血セミナーや勉強会の講師などを主な業務としています。特に輸血に伴う副作用・感染症自発報告症例を医療関係者から情報収集し分析・評価することは、血液製剤の安全対策にも反映される重要な業務と位置付けられています。

また、適正かつ安全な輸血療法の向上を目指すため、平成21年7月には県内医療機関で組織される「埼玉県合同輸血療法委員会」が設置されました。令和5年3月4日(土)には、「第14回埼玉輸血フォーラム」をウェブ開催し、同委員会での活動の成果を報告しました。



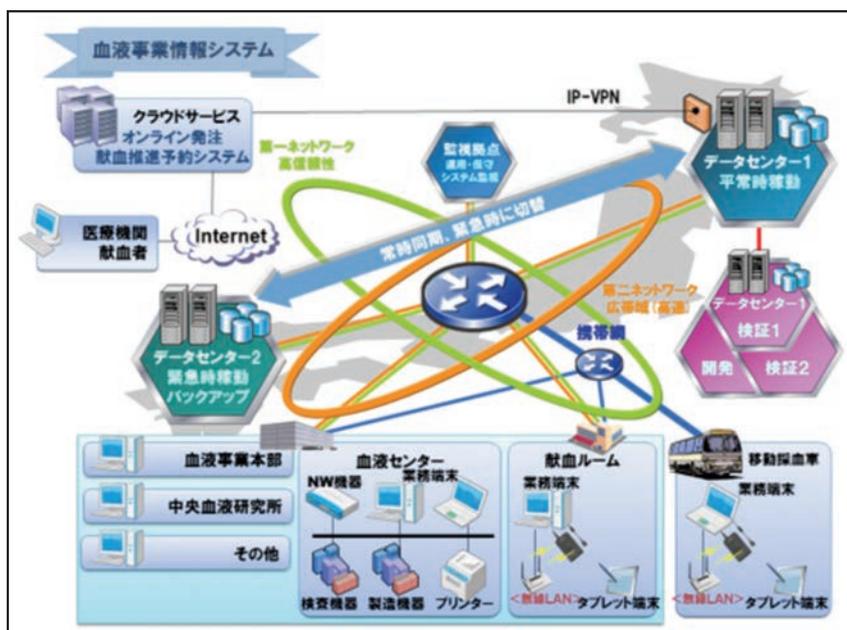
情報媒体の一例



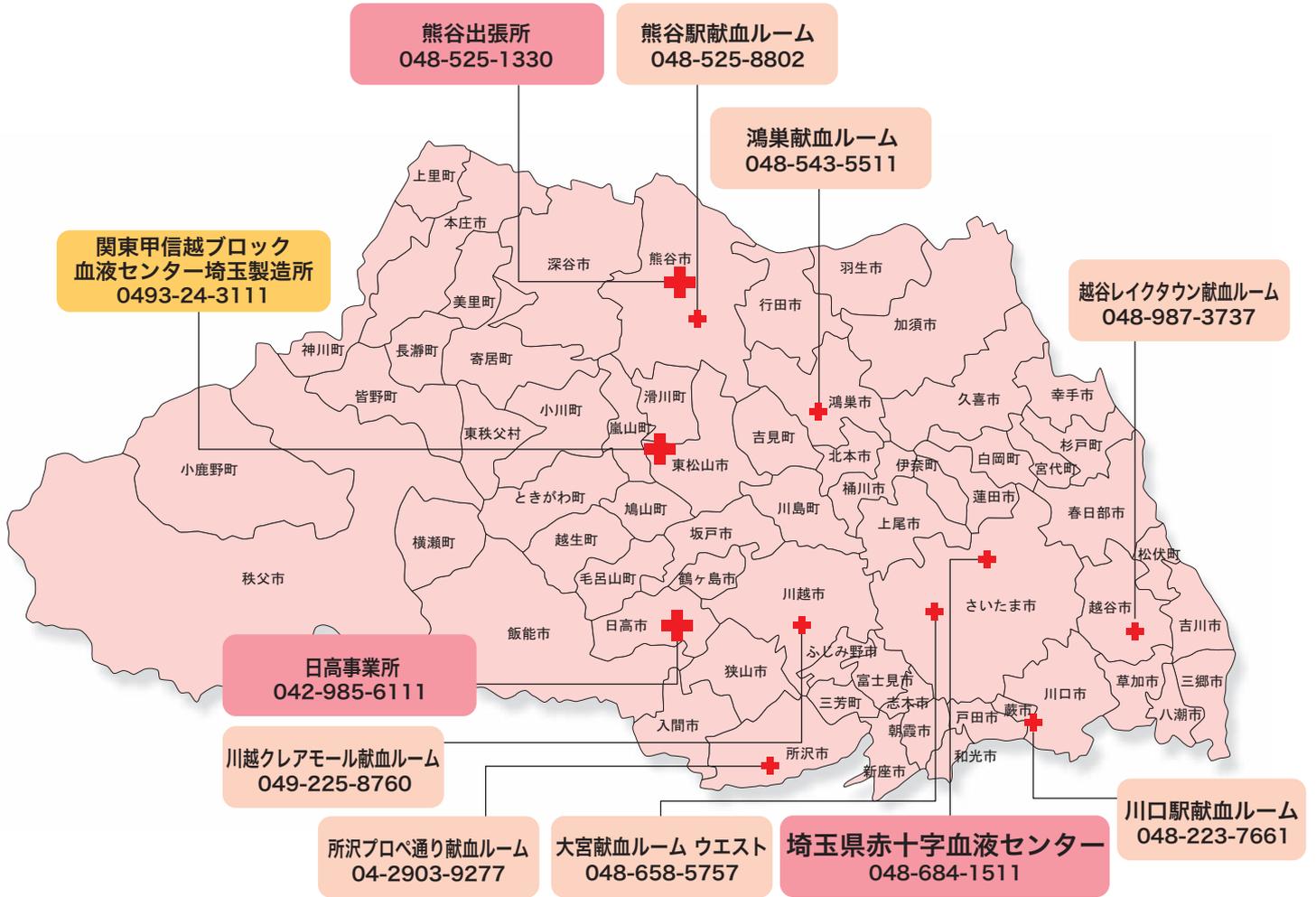
埼玉輸血フォーラム

## ●情報システムネットワーク

各地の血液センターでは、全国統一のコンピュータシステムを導入し、献血された血液を受け入れてから医療機関に供給するまでの業務をコンピュータ管理しています。また、全国的に整備されたオンラインネットワークを利用し、献血データの一元管理等を行って血液製剤の安全性の確保に役立っています。



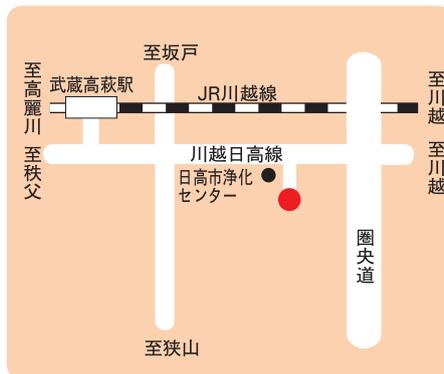
# 施設の案内



## 埼玉県赤十字血液センター



## 日高事業所



## 熊谷出張所



# 血液センター



埼玉センター全景

## 埼玉県赤十字血液センター

- 1 開設年月日 平成27年4月1日
- 2 所在地 337-0003  
埼玉県さいたま市見沼区深作955-1
- 3 案内 J R宇都宮線東大宮駅からおよそ2 km  
048-684-1511
- 4 敷地面積 8,921.75㎡
- 5 建物の構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建
- 6 延床面積 2,794.66㎡

## 日高事業所

- 1 開設年月日 平成5年10月1日
- 2 所在地 350-1213  
埼玉県日高市高萩1370-12
- 3 案内 J R川越線武蔵高萩駅からおよそ2 km  
042-985-6111
- 4 敷地面積 9,830㎡  
(埼玉県及び日高市有地)
- 5 建物の構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建 (本館)  
鉄筋造 地上2階建 (新館)
- 6 延床面積 2,885.0㎡ (本館)  
313.7㎡ (新館)



日高事業所全景



熊谷出張所全景

## 熊谷出張所

- 1 開設年月日 昭和58年7月1日
- 2 所在地 360-0806  
埼玉県熊谷市奈良新田398-1
- 3 案内 J R高崎線熊谷駅北口からおよそ6 km  
048-525-1330
- 4 敷地面積 6,289㎡ (熊谷市有地)
- 5 建物の構造 鉄筋コンクリート造  
地上2階、地下1階建
- 6 延床面積 2,613.7㎡

# 献血ルームの案内

## 大宮献血ルーム ウェスト

### 1 所在地

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-4-1  
DOM PARTⅢ 5階・6階

### 2 電話

048-658-5757

### 3 受付時間

成分献血 9:45～17:00  
全血献血 9:45～18:30

### 4 休業日 年末年始(臨時開設があります)



## 越谷レイクタウン献血ルーム

### 1 所在地

〒343-0828 埼玉県越谷市レイクタウン3-1-1  
イオンレイクタウンmori 1階

### 2 電話

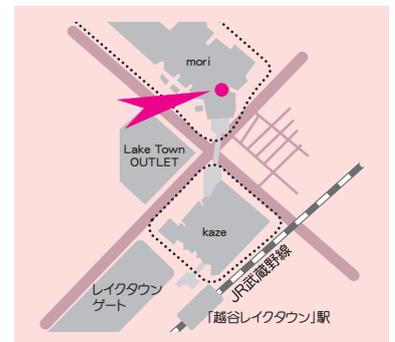
048-987-3737

### 3 受付時間

成分献血 9:45～16:30  
全血献血 9:45～17:30

※入居施設の営業時間により  
変更になる可能性があります

### 4 休業日 年末年始(臨時開設があります)



## 川越クリアモール献血ルーム

### 1 所在地

〒350-1122 埼玉県川越市脇田町4-2  
ドン・キホーテ川越東口店4階

### 2 電話

049-225-8760

### 3 受付時間

成分献血 9:45～12:30 / 14:00～16:30  
全血献血 9:45～17:30

### 4 休業日 年末年始(臨時開設があります) ビル休館日



## 鴻巣献血ルーム

### 1 所在地

〒365-0028 埼玉県鴻巣市鴻巣405-4  
埼玉県運転免許センター内

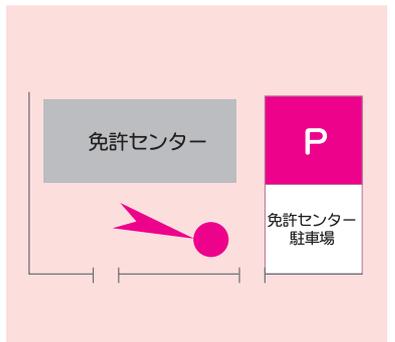
### 2 電話

048-543-5511

### 3 受付時間

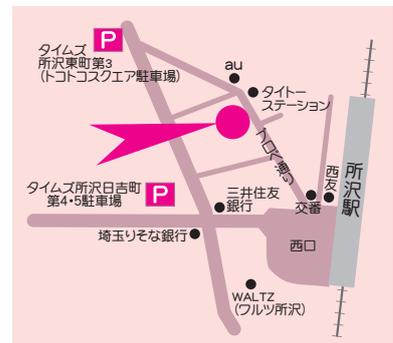
全血献血 8:45～13:00 / 14:00～16:30

### 4 休業日 土曜・祝日及び年末年始 (運転免許センターの休業日)



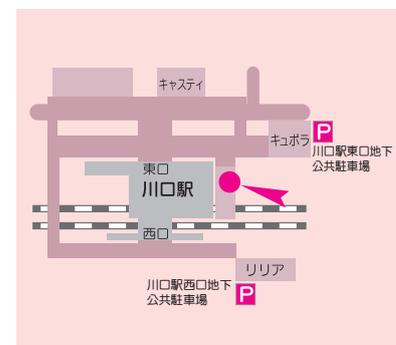
## 所沢プロペ通り献血ルーム

- 1 所在地  
〒359-1123 埼玉県所沢市日吉町10-19  
Tokorozawa ex 2階
- 2 電話  
04-2903-9277
- 3 受付時間  
成分献血 9:45~12:30 / 14:00~16:30  
全血献血 9:45~13:00 / 14:00~17:30
- 4 休業日 年末年始(臨時開設があります)



## 川口駅献血ルーム

- 1 所在地  
〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-24  
川口駅東口ビル3階
- 2 電話  
048-223-7661
- 3 受付時間  
成分献血 9:45~12:30 / 14:00~16:30  
全血献血 9:45~13:00 / 14:00~17:30
- 4 休業日 年末年始(臨時開設があります)



## 熊谷駅献血ルーム

- 1 所在地  
〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波2-112  
JR熊谷駅構内
- 2 電話  
048-525-8802
- 3 受付時間  
成分献血 9:45~12:30 / 14:00~16:30  
全血献血 9:45~13:00 / 14:00~17:30
- 4 休業日 毎週木曜日  
※木曜日が祝日の場合は開所  
年末年始(臨時開設があります)



# 広報・キャンペーン活動

## 1 新社会人応援献血キャンペーン

開催日	令和4年4月1日(金)～6月30日(木)
会場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内容	ポスターやSNSによるPR 献血ルーム及び献血バスにて献血を実施した新社会人を対象に 県が作製した記念品を配布
共催	埼玉県



新社会人応援献血キャンペーンポスター

## 2 世界献血者デー

開催日	令和4年6月14日(火)・26日(日)
会場	大宮献血ルームウエスト及び移動採血JR大宮駅東口
内容	世界献血者デーの趣旨に則り献血者の皆様に感謝するとともに、 献血の必要性を広く知って頂くため、地元のプロサッカーチーム である大宮アルディージャ協力のもとキャンペーンを実施
協力	大宮アルディージャ



世界献血者デー

## 3 愛の血液助け合い運動

期間	令和4年7月1日(金)～7月31日(日)
会場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内容	「献血推進ポスターコンクール」の実施 「彩の国さいたま愛の血液助け合いの集い」 (彩の国さいたま愛の血液助け合い運動は令和3年7月1日(木) から8月31日(火)まで実施)
実施機関	埼玉県・日本赤十字社埼玉県支部



ポスターコンクール最優秀賞ポスター

## 4 初回献血+ラブラッド登録キャンペーン

期間	令和4年9月1日(木)～11月30日(水)
会場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内容	ポスターやSNSによるPR 初めて献血を実施し、かつ献血Web会員サービス「ラブラッド」 の会員登録をされた方を対象に、県が作製した記念品を配布
共催	埼玉県



初回献血+ラブラッド登録キャンペーン

## 5 クリスマス献血キャンペーン2022

期 間	令和4年12月1日(木)から (献血啓発イベント) 令和4年12月17日(土)・18日(日) (献血実施)
内 容	埼玉西武ライオンズ選手による献血啓発動画の放映
イ ベ ント	埼玉県赤十字血液センター公式Youtubeチャンネルにおいて、 埼玉西武ライオンズ中山誠吾投手・古賀悠斗投手のメッセージ 動画放映 埼玉県内の献血会場にて献血協力者へ埼玉西武ライオンズコラ ボレーショングッズを進呈
共 催	日本赤十字社埼玉県支部・埼玉県学生献血推進連盟
後 援	埼玉県
協 力	株式会社西武ライオンズ・埼玉県青年赤十字奉仕団連絡協議会



クリスマス献血キャンペーン

## 6 「はたちの献血」キャンペーン

期 間	令和5年1月1日(日)～2月28日(火)
会 場	県内各移動採血車及び各献血ルーム 等
内 容	マスメディアやHP及びSNSによるPR 県作製啓発用資材を成人式の会場等で配付
共 催	埼玉県



はたちの献血キャンペーン

## 7 シニア60～64 (ロクマルロクヨン)初回献血キャンペーン

期 間	令和5年1月1日(日)～3月31日(金)
会 場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内 容	ポスターやSNSによるPR 献血ルーム及び献血バスにて献血を実施した60歳から64歳 の間に初めて献血された方(59歳までの献血経験の有無は問わな い)を対象に県が作製した記念品を配布
共 催	埼玉県



シニア60～64キャンペーン

## 8 卒業献血キャンペーン

期 間	令和5年2月1日(水)～4月30日(日)
会 場	県内各移動採血車及び各献血ルーム
内 容	卒業する県内の高等生へPRチラシを配布し献血協力を依頼 献血協力時対象者へは県作製の記念品を進呈
共 催	埼玉県・埼玉県教育委員会



卒業献血キャンペーン

# 研修・見学

## 1 臨床研修医対象研修

目的：輸血を行う立場にある医師を対象とした血液事業に対する理解の向上

埼玉医科大学 臨床研修医

10月17日(1名)、11月14日(1名)、12月12日(1名)、1月10日(1名)

埼玉医科大学総合医療センター 臨床研修医

6月1日(1名)、7月25日(1名)、9月26日(1名)、11月7日(1名)

1月16日(1名)、

埼玉医科大学国際医療センター 臨床研修医

参加なし

さいたま赤十字病院 臨床研修医

参加なし

深谷赤十字病院 臨床研修医

参加なし

参加人数合計： 9名

## 2 学生対象研修

### (1) 埼玉県学生献血推進連盟“赤い絆”血液に関する勉強会

目的：埼玉県学生献血推進連盟加盟者の献血及び輸血についての基礎的な知識の習得を目指す。また、実際に血液製剤の保管庫等を見学することで、活動意義の理解を促し、モチベーション向上を図る。

### (2) 学生献血推進リーダーの集い

目的：各地域センターでの若年層献血者確保に対する取り組みやキャンペーンの報告並びに情報の共有を図り活動の幅を広げる。

※令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑みオンラインでの開催となった。



学生献血推進連盟新規加入者宿泊研修①



学生献血推進連盟新規加入者宿泊研修②



学生献血推進リーダーの集い①



学生献血推進リーダーの集い②

※令和元年度開催時の写真となります。

### 3 学生を対象とした講座

目的：将来の献血を担う若年層を対象とした献血の重要性の伝達

7月 7日(木) さいたま市立大門小学校 (保護者30名)

10月 6日(木) 埼玉県立深谷高等学校 (生徒189名)

3月22日(水) 埼玉県立いずみ高等学校 (生徒460名) Web開催

参加人数合計：生徒649名・保護者30名



### 4 献血協力団体における献血研修会

目的：献血協力団体を対象とした献血の現状報告や健康や献血に関する知識の共有

4月 5日(火) 蕨ロータリークラブ

4月25日(月) 戸田ロータリークラブ

4月25日(月) 一般社団法人生命保険協会 埼玉県協会

5月 2日(月) 天理教埼玉教区

5月18日(水) 埼玉県信用金庫協会

6月14日(火) 一般社団法人埼玉県損害保険代理業協会

7月14日(木) 久喜ロータリークラブ

9月 9日(金) 埼玉県神道青年会

10月 6日(木) 上尾ロータリークラブ

10月13日(木) 戸田西ロータリークラブ

11月 3日(木) 天理教埼玉教区

11月 7日(月) 開智高等学校

11月22日(火) 第一生命保険株式会社浦和支社

12月15日(木) 大宮東口商店街連絡協議会

2月17日(金) 国際ロータリー 2770地区

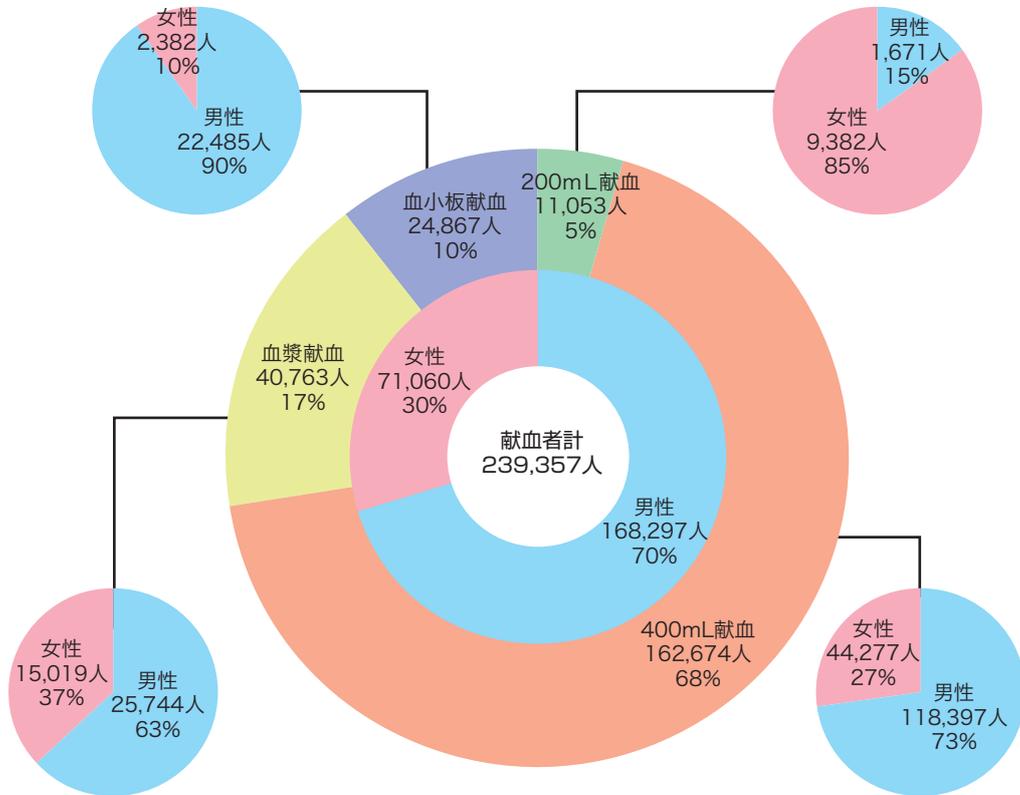
3月 2日(木) 上尾ロータリークラブ

3月16日(木) 鳩ヶ谷ロータリークラブ

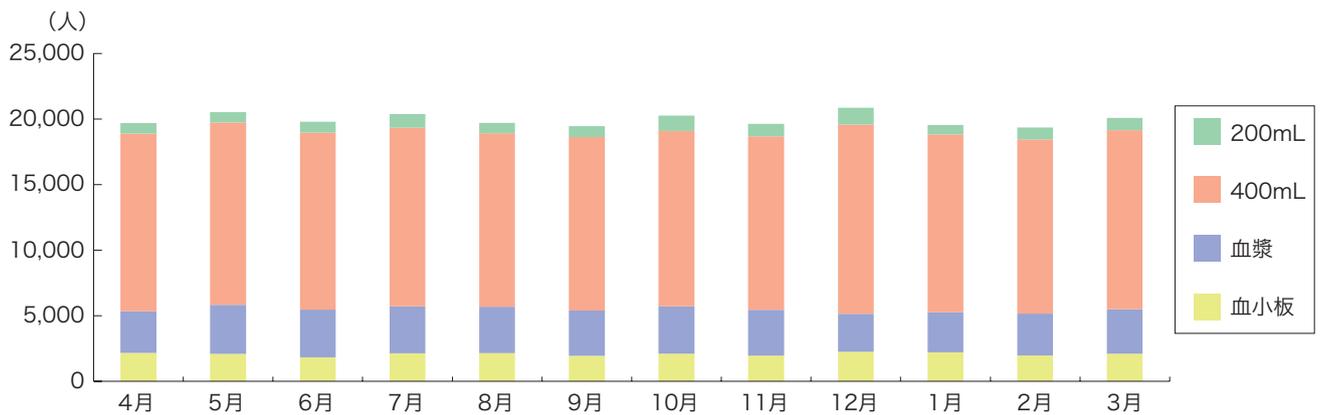
参加人数合計：870名

# 統計資料

## 1 献血種類別献血者数



## 月別献血者数



(人)

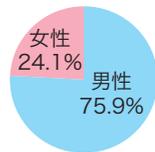
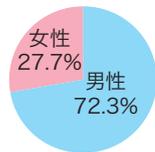
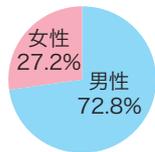
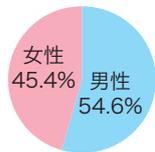
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	239,357	19,699	20,534	19,790	20,385	19,706	19,459	20,272	19,634	20,868	19,548	19,365	20,097
200mL	11,053	805	792	829	1,044	788	837	1,172	948	1,283	711	907	937
400mL	162,674	13,561	13,909	13,497	13,627	13,236	13,225	13,391	13,236	14,446	13,582	13,297	13,667
血漿	40,763	3,168	3,739	3,634	3,588	3,537	3,462	3,613	3,500	2,884	3,057	3,187	3,394
血小板	24,867	2,165	2,094	1,830	2,126	2,145	1,935	2,096	1,950	2,255	2,198	1,974	2,099

## 2 年代別献血者数

16~19歳 10,660人 4.5%	20~29歳 30,203人 12.6%	30~39歳 33,893人 14.2%	40~49歳 59,070人 24.7%	50~59歳 75,428人 31.5%	60~69歳 30,103人 12.6%
---------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

(人)

性別	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳	
	合計		合計		合計		合計		合計		合計	
男性	合計	5,825	合計	18,446	合計	23,601	合計	43,030	合計	54,554	合計	22,841
	200mL	1,405	200mL	109	200mL	41	200mL	24	200mL	64	200mL	28
	400mL	4,144	400mL	15,618	400mL	18,171	400mL	29,902	400mL	36,237	400mL	14,325
	血漿	169	血漿	1,499	血漿	2,636	血漿	6,308	血漿	9,743	血漿	5,389
	血小板	107	血小板	1,220	血小板	2,753	血小板	6,796	血小板	8,510	血小板	3,099



(人)

性別	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳	
	合計		合計		合計		合計		合計		合計	
女性	合計	4,835	合計	11,757	合計	10,292	合計	16,040	合計	20,874	合計	7,262
	200mL	3,151	200mL	1,736	200mL	829	200mL	1,233	200mL	1,759	200mL	674
	400mL	1,482	400mL	7,948	400mL	6,783	400mL	10,068	400mL	13,448	400mL	4,548
	血漿	182	血漿	1,812	血漿	2,169	血漿	3,629	血漿	5,187	血漿	2,040
	血小板	20	血小板	261	血小板	511	血小板	1,110	血小板	480	血小板	0

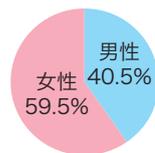
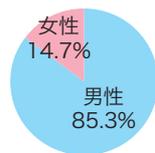
## 3 職業別献血者数

公務員 31,428人 13.1%	会社員 141,240人 59.0%	学生 17,230人 7.2%	その他 49,459人 20.7%
-------------------------	--------------------------	-----------------------	-------------------------

(人)

性別	公務員		会社員		学生		その他	
	合計		合計		合計		合計	
男性	合計	26,801	合計	111,749	合計	9,713	合計	20,034
	200mL	34	200mL	149	200mL	1,429	200mL	59
	400mL	20,263	400mL	77,612	400mL	7,337	400mL	13,185
	血漿	3,588	血漿	17,707	血漿	587	血漿	3,862
	血小板	2,916	血小板	16,281	血小板	360	血小板	2,928

※構成比は端数処理しているため、合計が必ずしも100%にはならない

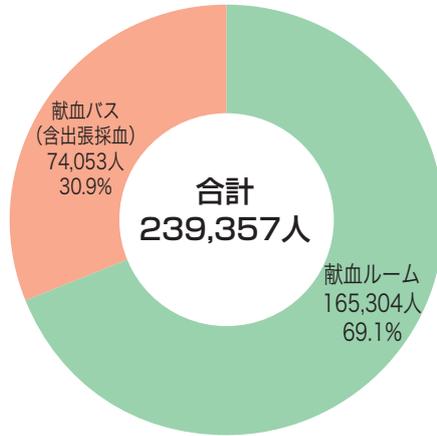
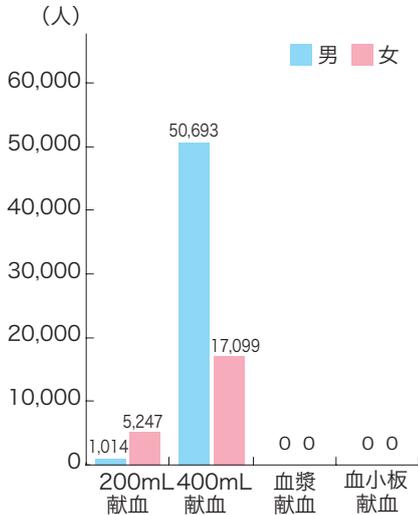


(人)

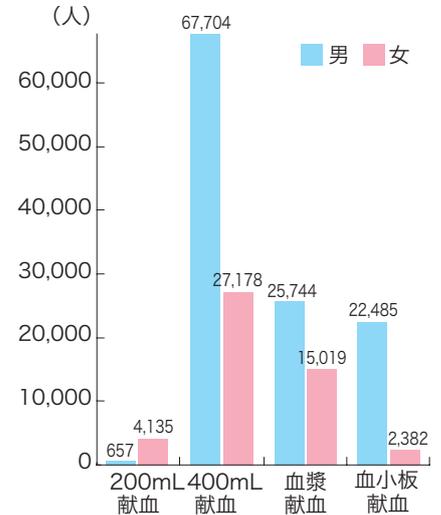
性別	公務員		会社員		学生		その他	
	合計		合計		合計		合計	
女性	合計	4,627	合計	29,491	合計	7,517	合計	29,425
	200mL	601	200mL	2,766	200mL	3,607	200mL	2,408
	400mL	3,040	400mL	19,332	400mL	3,303	400mL	18,602
	血漿	875	血漿	6,218	血漿	545	血漿	7,381
	血小板	111	血小板	1,175	血小板	62	血小板	1,034

## 4 受入施設別献血者数

### 移動採血



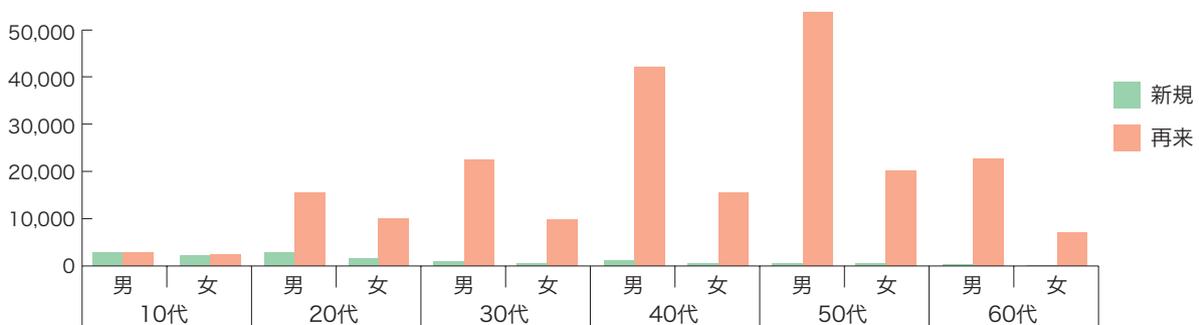
### 献血ルーム



## 5 年代別新規再来献血者数

(人)

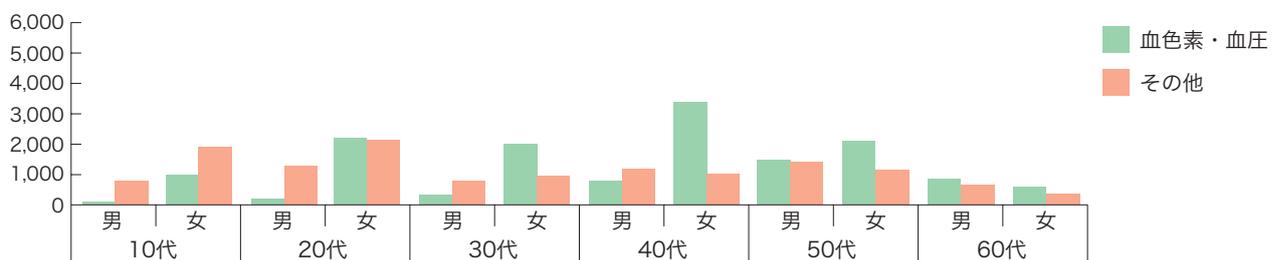
	合計	10代		20代		30代		40代		50代		60代		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合計	239,357	5,825	4,835	18,446	11,757	23,601	10,292	43,030	16,040	54,554	20,874	22,841	7,262	168,297	71,060
新規	13,963	2,936	2,275	2,892	1,595	1,076	518	824	508	606	531	107	95	8,441	5,522
再来	225,394	2,889	2,560	15,554	10,162	22,525	9,774	42,206	15,532	53,948	20,343	22,734	7,167	159,856	65,538



## 6 献血不適格者数

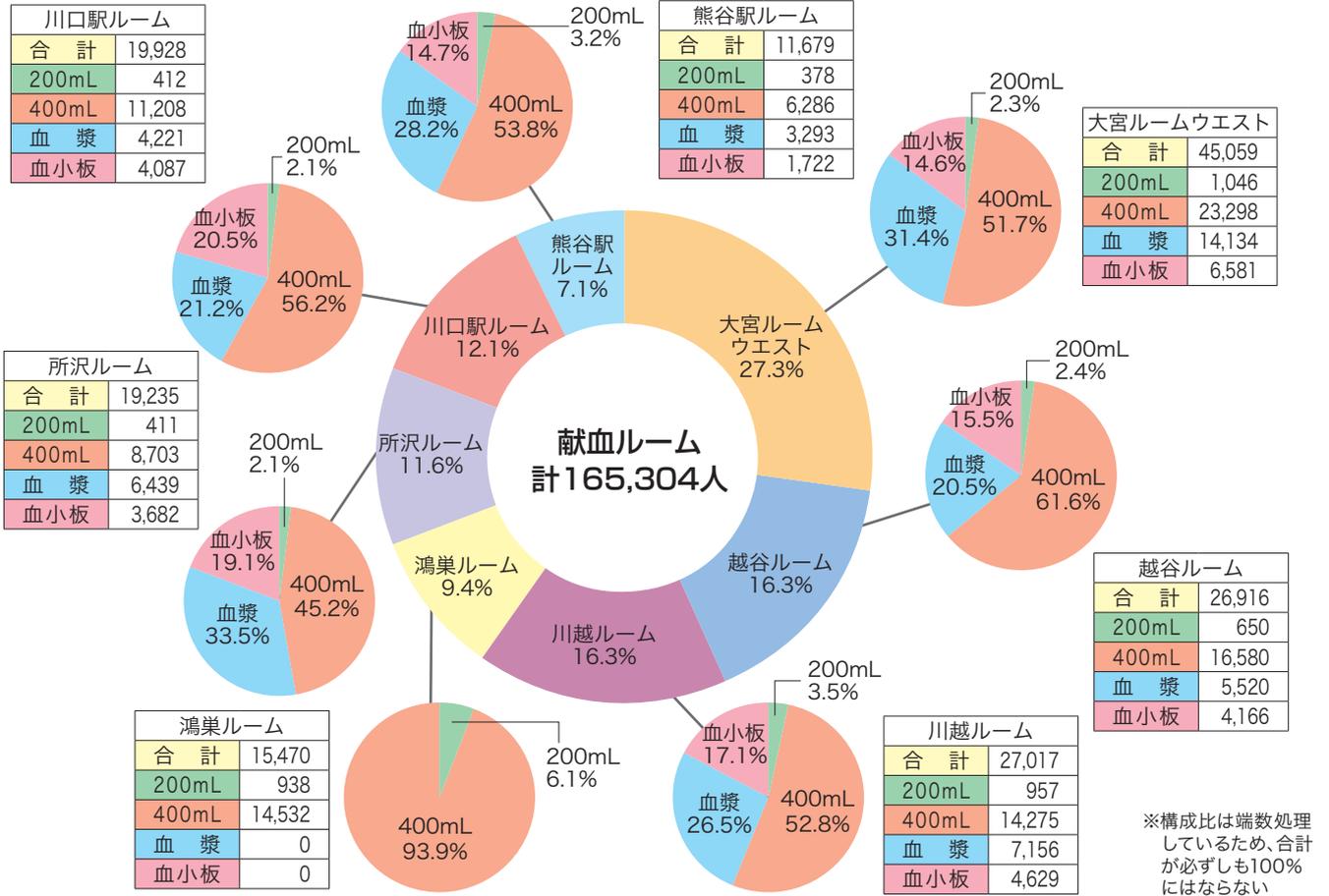
(人)

	合計	10代		20代		30代		40代		50代		60代以上		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合計	28,549	892	2,876	1,463	4,322	1,103	2,948	1,965	4,396	2,889	3,263	1,498	934	9,810	18,739
血色素・血圧	14,991	96	980	184	2,190	319	2,009	799	3,377	1,478	2,109	857	593	3,733	11,258
その他	13,558	796	1,896	1,279	2,132	784	939	1,166	1,019	1,411	1,154	641	341	6,077	7,481



## 7 献血ルームの受入状況

### ①献血ルーム別献血者数



### ②職業別献血者数

(人)

	合計	公務員		会社員		高校生		学生		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合計	165,304	13,207	2,360	81,893	20,232	1,475	1,825	4,248	3,286	15,767	21,011
ウエスト	45,059	3,994	732	22,217	5,641	445	587	1,288	955	3,806	5,394
越谷	26,916	1,851	369	13,612	3,161	170	275	485	536	2,436	4,021
川越	27,017	2,107	345	12,832	3,301	346	454	961	697	2,646	3,328
鴻巣	15,470	866	164	7,583	1,927	99	63	499	284	1,714	2,271
所沢	19,235	2,077	359	8,893	2,314	185	191	450	437	1,901	2,428
川口駅	19,928	1,289	211	10,711	2,669	111	142	341	246	1,941	2,267
熊谷駅	11,679	1,023	180	6,045	1,219	119	113	224	131	1,323	1,302

### ③新規再来別献血者数

(人)

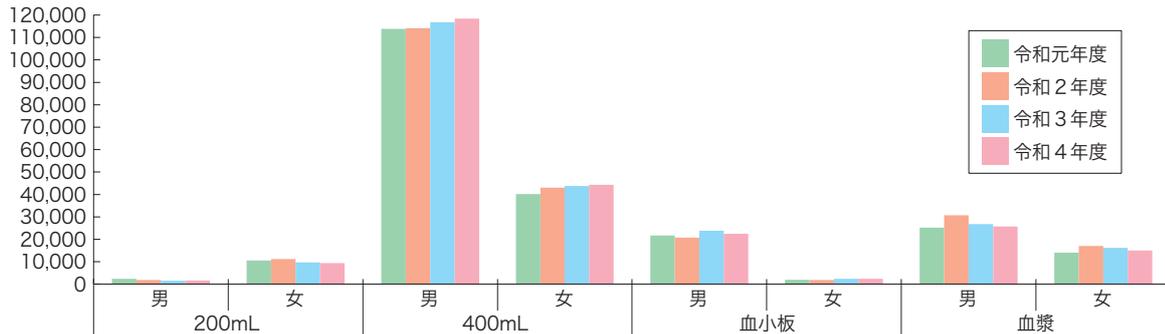
	合計	新規		再来	
		男	女	男	女
合計	165,304	2,851	2,748	113,739	45,966
ウエスト	45,059	551	664	31,199	12,645
越谷	26,916	382	491	18,172	7,871
川越	27,017	395	469	18,497	7,656
鴻巣	15,470	854	458	9,907	4,251
所沢	19,235	254	305	13,252	5,424
川口駅	19,928	284	228	14,109	5,307
熊谷駅	11,679	131	133	8,603	2,812

## 8 献血者の推移

### ① 献血種類別の推移

(人)

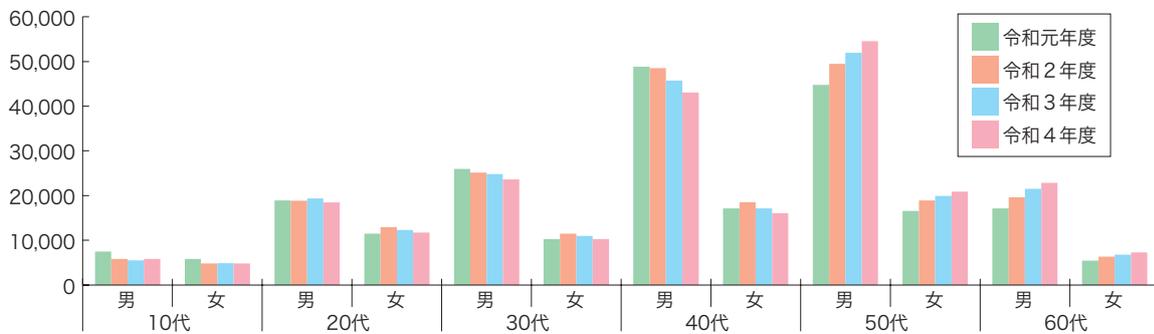
	合計	200mL		400mL		血小板		血漿		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和元年度	229,804	2,373	10,561	113,892	40,169	21,674	1,934	25,153	14,048	163,092	66,712
令和2年度	240,447	1,787	11,156	114,192	43,070	20,688	1,789	30,762	17,003	167,429	73,018
令和3年度	240,942	1,492	9,704	116,846	43,778	23,846	2,324	26,765	16,187	168,949	71,993
令和4年度	239,357	1,671	9,382	118,397	44,277	22,485	2,382	25,744	15,019	168,297	71,060



### ② 年齢別の推移

(人)

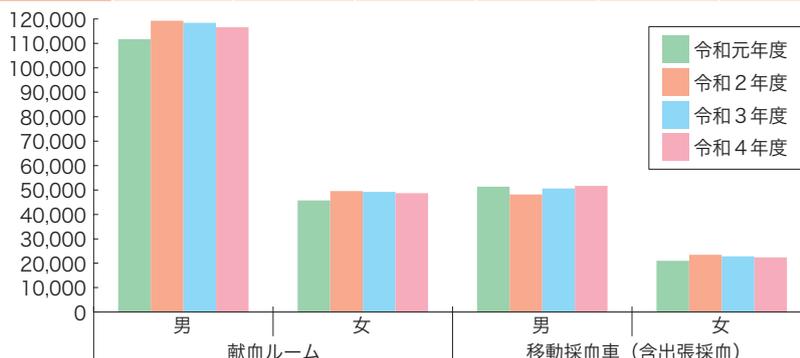
	合計	10代		20代		30代		40代		50代		60代		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和元年度	229,804	7,475	5,815	18,898	11,460	25,954	10,262	48,815	17,160	44,797	16,584	17,153	5,431	163,092	66,712
令和2年度	240,447	5,810	4,818	18,869	12,961	25,162	11,464	48,545	18,522	49,439	18,931	19,604	6,322	167,429	73,018
令和3年度	240,942	5,514	4,862	19,334	12,310	24,835	10,985	45,749	17,132	51,974	19,914	21,543	6,790	168,949	71,993
令和4年度	239,357	5,825	4,835	18,446	11,757	23,601	10,292	43,030	16,040	54,554	20,874	22,841	7,262	168,297	71,060



### ③ 受入施設別推移

(人)

	合計	献血ルーム		移動採血車 (含出張採血)		計	
		男	女	男	女	男	女
令和元年度	229,804	111,751	45,701	51,341	21,011	163,092	66,712
令和2年度	240,447	119,223	49,591	48,206	23,427	167,429	73,018
令和3年度	240,942	118,395	49,190	50,554	22,803	168,949	71,993
令和4年度	239,357	116,590	48,714	51,707	22,346	168,297	71,060



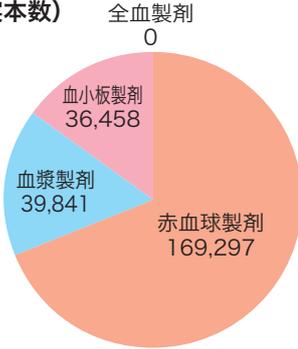
## 9 供給の状況

### ①血液製剤種類別供給数

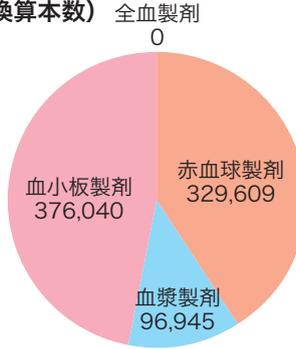
※「単位換算本数」は、各製剤の単位数を本数に換算した本数

	1単位製剤	2単位製剤	成分							本数合計	単位換算
			FFP-480	1単位	2単位	5単位	10単位	15単位	20単位		
全血製剤	0	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0
赤血球製剤	8,985	160,312	-	-	-	-	-	-	-	169,297	329,609
血漿製剤	951	29,783	9,107	-	-	-	-	-	-	39,841	96,945
血小板製剤	-	-	-	-	-	-	33,078	2,059	518	36,458	376,040
合計	9,936	190,095	9,107	0	0	803	33,078	2,059	518	245,596	802,594

245,596本  
(実本数)



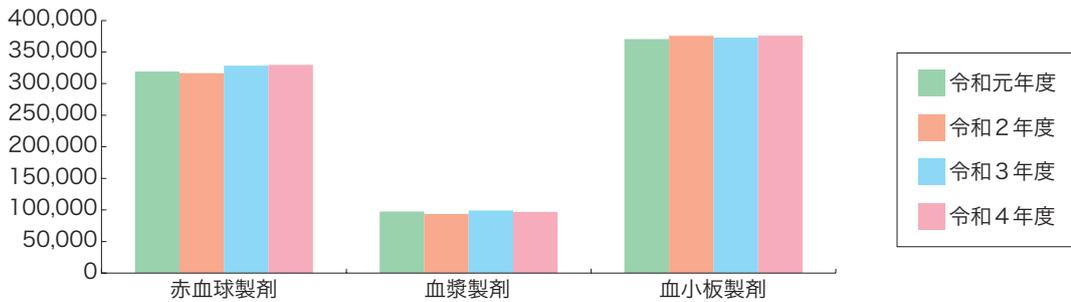
802,594本  
(単位換算本数)



### ②輸血用血液製剤の推移

(200mL換算本数)

	合計	全血製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤
令和元年度	787,273	0	319,150	97,473	370,650
令和2年度	785,795	0	316,592	93,561	375,642
令和3年度	800,397	0	328,455	99,177	372,765
令和4年度	802,594	0	329,609	96,945	376,040

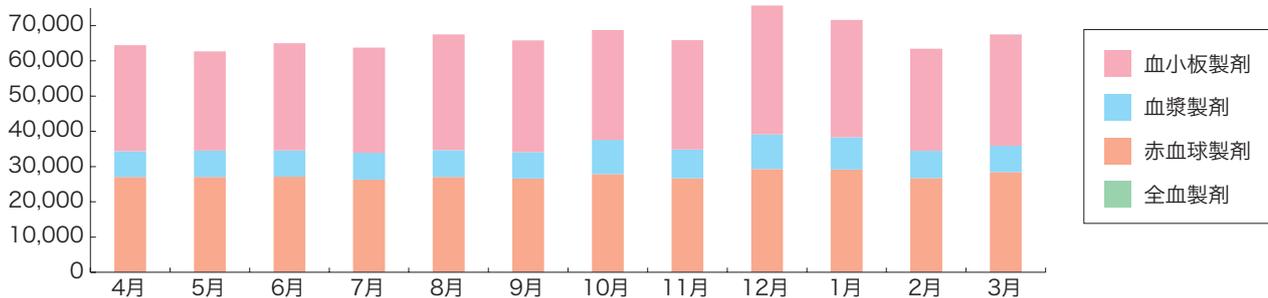


※全血製剤は、値が小さいため省略した。

### ③月別供給数

(200mL換算本数)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全血製剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤血球製剤	329,609	27,086	27,092	27,143	26,299	27,087	26,652	27,867	26,693	29,310	29,201	26,733	28,446
血漿製剤	96,945	7,268	7,478	7,464	7,602	7,587	7,471	9,710	8,153	9,843	9,169	7,729	7,471
血小板製剤	376,040	30,105	28,165	30,385	29,875	32,810	31,720	31,150	31,035	36,895	33,280	29,025	31,595





日本赤十字社

埼玉県赤十字血液センター

<https://www.bs.jrc.or.jp/kts/saitama/>

